

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2004-23347(P2004-23347A)

【公開日】平成16年1月22日(2004.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-003

【出願番号】特願2002-174060(P2002-174060)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 9/07

G 0 6 T 5/00

H 0 4 N 1/46

H 0 4 N 1/60

H 0 4 N 5/76

H 0 4 N 5/91

【F I】

H 0 4 N 9/07 C

G 0 6 T 5/00 1 0 0

H 0 4 N 5/76 E

H 0 4 N 1/40 D

H 0 4 N 1/46 Z

H 0 4 N 5/91 H

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月13日(2005.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置、画像処理方法、及びプログラム

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体を撮像する撮像手段と、

上記撮像手段で得られた撮像画像データを解析する画像解析手段と、

上記画像解析手段による解析結果に基づき、上記撮像手段で得られた撮像画像データを補正する補正手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

上記補正手段は、上記撮像画像データの色再現特性を補正することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

上記補正手段により補正された画像データを記録媒体に記憶する記憶手段とを備えることを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項4】

上記補正手段は、上記解析結果に基づくパラメータを変換し、当該変換後パラメータに

に基づき上記撮像画像データを補正することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項5】

被写体を撮像する撮像ステップと、

上記撮像ステップで得られた撮像画像データを解析する画像解析ステップと、

上記画像解析ステップによる解析結果に基づき、上記撮像ステップで得られた撮像画像データを補正する補正ステップとを含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項6】

被写体を撮像する撮像ステップと、

上記撮像ステップで得られた撮像画像データを記録媒体に記憶する第1の記憶ステップと、

上記撮像ステップで得られた撮像画像データの色再現特性を補正する色補正ステップと、

上記色補正ステップで色補正された撮像画像データを所定の形式に変換するデータ変換ステップと、

上記データ変換ステップで変換された撮像画像データを上記記録媒体に記憶する第2の記憶ステップとを含む画像処理方法であって、

上記撮像ステップで得られた撮像画像データを解析する画像解析ステップと、

上記画像解析ステップで出力される解析結果に基づき色補正パラメータを生成するパラメータ生成ステップとを含み、

上記色補正ステップは、上記撮像ステップで得られた撮像画像データに対し、上記パラメータ生成ステップで得られた色補正パラメータに基づき色再現特性を補正するステップを含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項7】

コンピュータを所定の手段として機能させるためのプログラムであって、

上記所定の手段は、

被写体を撮像する撮像手段と、

上記撮像手段により撮像した画像データを解析する画像解析手段と、

上記画像解析手段による解析結果に基づき、上記撮像手段で得られた撮像画像データを補正する補正手段とを備えることを特徴とするプログラム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えば、撮像素子により取得した撮像画像情報を処理して記録媒体に記録する装置或いはシステムに用いられる、画像処理装置、画像処理方法、及びそれを実施するためのプログラムに関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで、本発明は、上記の欠点を除去するために成されたもので、常に良好な撮影画像を提供できるようにすることを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】